

町田市議会議員・若者育成の街

吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅042-795-7361



インターンシップ好評

都市計画税は市議会が決める

町田市は、間もなく都市計画税の改定時期を迎えます。条例でその税率を定めるものですので、なにもしないと、本則に戻り、0.3%になります。それを、現在まで0.24%に引き下げ適用しています。それは、今から20年以上前に議会全体の総意で、0.06%の引き下げを決定したものです。その決定経緯は、当時の議会を真っ二にした攻防を経た上での決着でしたが、ある意味、両者が妥協、歩み寄っての結論でした。



町田市の中心市街地の商店街通りの風景

つまり、個々の都市計画税額は、土地と家屋の固定資産を評価され、課税標準額に応じた額が決定されますが、その税率（上限が0.3%に設定されている）は、各自治体が自ら決定でき、議会で議員自身が条例案を提起し、議会で決定してきたものです。ただし、市長は、税収入の増大を優先して上限である本則通りの0.3%に戻したい、戻ってほしいと期待しています。もちろん、市長の思惑通りの結果では議会の存在意義が無い、あるいは薄らぐと思うものです。この都市計画税額の増額は、持ち家（分譲マンションを含む）の人はもちろん、賃貸の人も、賃料の増額に反映され、影響がない人は無いと言えるものであり、大半の人にかかわる問題と言えるので、その動向にご注目下さい。

作品創作は天分、天才の領域

「市民文学館ことばらんど」の会場室内で撮影ができなかった、「20×20 原稿用紙」展が気に入りました。*撮影禁止。それは、名家の仕事ぶりがしのばれる原稿を使った文章の原本の数々が、学芸員の手によって人を引きこむように配置されていました。その飾りつけを含めて、写真で出せないのが残念です。

展示作品の中で、出品者の一人の方の小学生時代の作品がありました。

それは、何十枚もの原稿用紙の400個のコマを丁寧に一つ一つ切り抜いたもので、その端正さ、多重さに見とれるほどでした。その作品を後から評すると、「時間をかければできないものではない。こんなことをして何になるのか」と言う平凡な意見が出かねませんが、思うに、芸術は常識を覆して出てくるもの、異彩な才能を持ってそれを表現できるのが芸術家だと納得するものでした。ある意味、その作品の作りは、製作者の頭がメカニク的な規則性を持ち、かつ、職人的な手先の器用さがないと出来上がらないものでした。出展作品の多くが、歴史に残る文学作品でしたが、一方で、工業美術の基礎作品のような作品コーナー配置が優れていました。



同時開催の「2020（ニコニコ）絵本原画展」の絵の具やペンなどの道具類です

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆良識ある保守主意



ブログ



HP

メールは
左記を読込
して送信



インターン生募集中

インターン体験記⑨星野ひとみ

参議院議長公邸を訪問し、山東昭子参議院議長にお会いすることができました。本来お会いできない予定だったので、嬉しい限りでした。山東議長は女優として活躍されるなか、ドラマやクイズ番組、情報番組まで幅広く様々なことに挑戦され、国会議員への立候補から当選、そして現在、参議院議長というお仕事をしてされています。そして議長という仕事ができるのは、若い時から様々な経験をして知識・教養を吸収してきたからだ、とおっしゃっていました。私は、お話を聞く中で、山東議長は芯があり、行動力のある、しなやかな女性だと感じました。議会はどうしても男性が多い印象がありますが、その中で毅然としていらっしゃるのには本当に尊敬する点で、私の目指すべき像に近い存在だと思いました。



参議院議長公邸の執務室に入り、山東議長と懇談前にそのデスクで記念撮影



参議院公邸内から芝生の園庭を背にして、三人で撮影（中央が星野さん）

昭和女子大3年生 星野ひとみ(第46期生)

インターン体験記⑦佐々木愛花梨

この日のインターンシップは午前には全国小売酒販組合中央会、午後は日本青年館を訪問させて頂きました。これまでの訪問先の自治体や企業などとは感じが異なり、公益的団体や公益事業というものについて考えさせられる一日となりました。

全国小売酒販組合中央会とは、「酒税の保全及び酒類業組合等に関する法律」(酒類業組合法)に基づいて設立された組合であり、酒税の保全に対する協力や共同の利益の増進のための事業を行っています。そしてここで事務局長として働いていらっしゃる水口様は吉田議員の元インターン生であることから、この公益事業団体の性格のことから、そうした団体職員の「就活」のことについて、職員の方が同席していただいて、その経過を含めて幅広くお話をしてくださいました。



全国小売酒販組合中央会の応接室は、格調高い部屋でした。後方はその組合中央会と関係団体の歴代の代表者の方々の写真が掲示されていました。

昭和女子大3年生 佐々木愛花梨(第46期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。